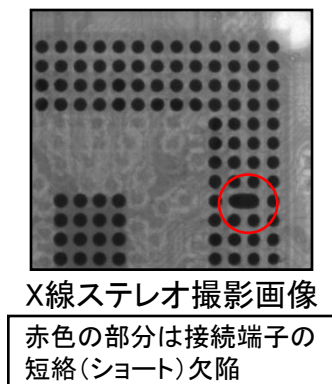
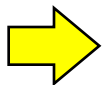
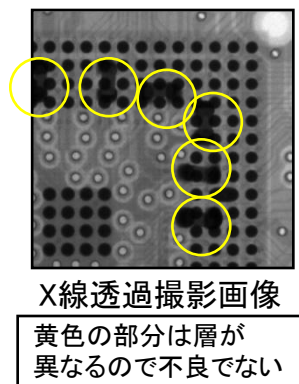
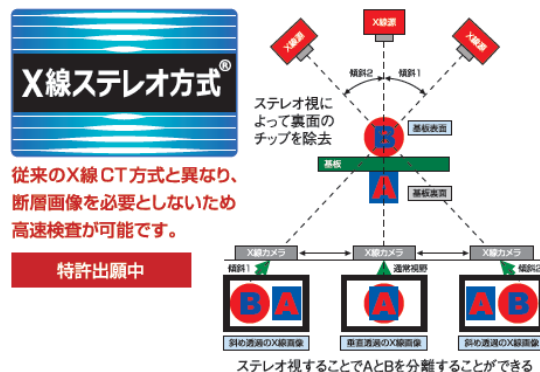


「X線ステレオ方式[®]」を用いた 電子回路基板検査装置

【株式会社アイビット】

【特徴】

- ・ X線を複数の傾斜方向から照射し、画像処理で任意の深さの面の画像を得る「X線ステレオ方式[®]」を開発。
- ・ 従来のX線透過画像では、各層の接続部が重なってしまい、検査が困難だった多層の電子回路基板を効率よく検査できる。



X線ステレオ方式[®]を用いた3次元実装検査装置

【効果】

《 X線ステレオ方式[®]と従来のX線CT方式の比較 》

	X線ステレオ方式	X線CT方式
検査時間	速い(2秒/視野) 全数検査で利用	遅い(5分/視野) 不良解析で利用
大きさ	コンパクト (重量1 t)	大型設備 (重量3~5 t)
取得できる情報	各層の情報は取得できない 任意の層情報を取得	各層の詳細な情報を 取得できる
コスト	低コストで導入可能 (3000万円)	高額システム (7000万円~1億円)

『第28回神奈川工業技術開発大賞』受賞

※)X線ステレオ方式は株式会社アイビットの登録商標です。